新潟大学　倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	パレコウイルス A~~3~~の全ゲノム解析による分子進化と遺伝子組み換えの検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2012 年から 2025~~3~~年の間に「リアルタイム PCR 法・デジタル PCR 法を用いたウイルスの迅速診断の臨床応用」（承認番号：2015-2108）ならびに 2019 年から 2023 年の間に「国内におけるパレコウイルス A3 感染症の前方視的疫学調査」（承認番号：2018-0427）にご参加いただき、パレコウイルス A~~3~~が検出された当時生後 4 か月未満のお子さんが対象になります。	
③概要	
パレコウイルス A の中でも特に A3 は生後 4 か月未満のお子さんの発熱の原因になりますが、そのウイルス遺伝子の役割はまだよくわかっていません。そこで、これまでに新潟大学小児科研究室で見つかったウイルスの全ての遺伝子を明らかにして、比較し、その変化の進み方をみます。過去に同意書を頂き、すでに保管している試料・情報を新たに使います。この研究へのご参加をご希望されない場合には、下記お問い合わせ先へご連絡ください。ご希望されないことによって不利益を生じることはありません。	
④申請番号	2023-0281
⑤研究の目的・意義	パレコウイルス A~~3~~のウイルス遺伝子の全てを明らかにして、比較し、その変化の進み方を明らかにします。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から ~~2025~~2026 年 12 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	すでに収集済みの情報とウイルス分離株を用いて解析します。使用するデータには個人が特定される情報は含まれません。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、臨床診断名、検出時期、ウイルス遺伝子
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用します。 新潟大学　小児科　相澤悠太 共同研究機関：国立健康危機管理機構　国立感染症研究所　病原体ゲノム解析研究センター第~~三~~二室　堀場千尋
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学　小児科　相澤悠太 共同研究機関：国立健康危機管理機構　国立感染症研究所　病原体ゲノム解析研究センター第~~三~~二室　堀場千尋
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ありましたら、下記までご連絡をお願いします。

	所属：新潟大学小児科 氏名：相澤悠太 Tel：025-227-2222 E-mail：shounika@med.niigata-u.ac.jp